

# 名護市 家庭教育支援事業

チームの名称：名護市家庭教育支援チーム

チーム員数 34名(内訳:保護者・スクールカウンセラー・社会教育指導員等)

チーム結成年：平成 26 年

## 連携している外部人材・関係機関・団体等

幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校  
児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所  
病院・保健所 家庭教育支援に関する実行委員会・協議会  
行政(教育委員会) 行政(保健・福祉部局) 行政(その他の部局: )  
その他( )

## 活動の目的・理念

全ての親や保護者が家庭教育に関する学習ができるよう、地域における支援体制を整え、地域人材の育成や活用、学校や関係機関との連携による持続可能な仕組みをつくり、地域全体で家庭教育支援を推進することを目的とする。

## 家庭教育支援の取組概要

### 学びの場の提供

- ・子育てスキルアップ兼人材育成講座  
(初級・中級・上級)
- ・家庭教育支援講座(勉強会)  
(保護者・支援者の学び)

### 親子交流の場の提供

- ・親子参加型講座の開催(名護青少年の家と連携)



人材育成講座



### ◆特色ある取組

コミュニティ・スクールと一体的に推進するため、地域学校協働活動推進員との合同勉強会を開催して連携の手立てを協議した。

## 成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

○チームのメンバーが主体となって活動の企画・運営を行い、家庭教育に関する学びや交流の場を提供

☆関係機関・団体等との連携や情報共有を進め、幅広く人材発掘と育成を行う。

☆学校・家庭・地域と連携したコミュニティ・スクールと一体的に推進する。

# 豊見城市 家庭教育支援事業

チームの名称： 豊見城市家庭教育支援チーム

チーム員数 13 名(内訳:PTA関係者、社会教育団体関係者、地域住民 等)

チーム結成年： 平成 27 年

## 連携している外部人材・関係機関・団体等

幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校  
児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所  
病院・保健所 家庭教育支援に関する実行委員会・協議会  
行政(教育委員会) 行政(保健・福祉部局) 行政(その他の部局:こども未来部)  
その他( )

## 活動の目的・理念

すべての親が家庭教育について学べるよう、講演会や研修会などの学習機会を提供するとともに、情報交換ができる交流の場を設ける。また、地域の人材を活用した活動プログラムを実施し、PTAや社会教育団体と連携しながら、家庭教育力の向上を目的とした幅広い活動を展開する。

## 家庭教育支援の取組概要

- 家庭教育支援者研修会の開催(島尻教育事務所と共同主催)
  - ・テーマ①「釜石の奇跡～いのちを守る授業～」
  - ②「教育と防災～自ら生き抜く力を育む～」
- 家庭教育支援プログラムの開催
  - ・講座「こどもの発達・特性 1day基礎講座」
  - ・保護者同士のグループトーク(日頃の困りごとや体験談など)
- 家庭教育支援講演会の開催
  - ・テーマ「女性支援について(仮題)」
- 社会教育団体との連携(青少年育成市民会議主催講演会への共催)
  - ・テーマ「愛着理論をベースにしたこども支援のあり方を考える～家庭・学校・地域それぞれの立場から～(仮題)」
- 家庭教育支援アドバイザー連絡会の開催(年3回程度)
  - ・事業計画について意見を募る、アドバイザーとしてプログラムへの参加を依頼



### ◆特色ある取組

家庭教育支援プログラムにおいて、家庭教育支援アドバイザーにファシリテーターとして協力いただき、保護者同士が安心して情報交換できる機会を提供する。

## 成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 島尻教育事務所と共同主催にて研修会を開催したことで、他市町村の家庭教育支援者等と地域の実情に応じた取組を共有することができた。
- 家庭教育支援プログラムにおいて、子どもの発達・特性に関する理論的な講座を受講した後に保護者同士で交流する時間を設けることができた。ファシリテーターとして家庭教育支援アドバイザーに協力していただけただけなので、有意義な交流ができた。
- ☆男性の参加が少なかったので、男女問わず興味を持てるテーマを検討する必要がある。
- ☆一時託児スペースをより利用しやすいように周知を工夫する。

# 南城市 家庭教育支援事業

チームの名称：家庭教育講座NVCワークショップ

チーム員数 8名(内訳:地域コーディネーター、ボランティア)

チーム結成年：令和 7 年

## 連携している外部人材・関係機関・団体等

幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校  
児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所  
病院・保健所 家庭教育支援に関する実行委員会・協議会  
■行政(教育委員会) 行政(保健・福祉部局) 行政(その他の部局: )  
その他( )

## 活動の目的・理念

子どもとの関わり方で悩んでいる。話し合いたいのにけんかになってしまう。  
子ども自身が自分の感情やニーズを知り、人と繋がる体験ができるNVC(非暴力コミュニケーション)を  
親子で学び、家庭で実践してみませんか。

## 家庭教育支援の取組概要

認定キャリア教育コーディネーターによるワークショップ  
子どもの気持ちを理解する、けんかにならずに話し合う方法を知りたい  
子どもの悩みを聞ける親子関係でいたい、自分も我慢せずに子供に寄り添いたい  
といった子供に係る職種や保護者へ向けた内容となっている。

### ◆特色ある取組

子どもの見守りボランティアを配置することで、子どもを遊ばせることが可能となっており、親はワークショップに集中することができている。



## 成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 受講生実績は、市内在住者28名、南城市街在住者2名  
保護者43パーセント、支援者(教育・福祉職)36.7パーセント、その他20パーセント  
親子での参加者が多く子どもと一緒にNVCについて学べた点や内容も分かりやすかった等の  
声があがっていた。
- ☆NVCの基礎を学ぶ内容になっていて、家庭で実践するための具体的な方法について伝える時  
間が足りなかった。
- ☆子供の対象年齢を絞り複数回実施するなど、発達に合わせた内容にした方がより子どもの参  
加を促しやすい。

# 本部町 家庭教育支援事業

チームの名称 :本部町家庭教育支援チーム

チーム員数10名(内訳:コーディネーター、PTA、子ども支援員など)

チーム結成年 : 令和元年

## 連携している外部人材・関係機関・団体等

幼稚園 保育所 小学校 中学校 高等学校 中等教育学校 特別支援学校  
児童館 公民館 図書館 PTA 子育て・教育支援団体、NPO 企業・事業所  
病院・保健所 家庭教育支援に関する実行委員会・協議会  
行政(教育委員会) 行政(保健・福祉部局) 行政(その他の部局: )  
その他( )

## 活動の目的・理念

子育てに関わる保護者へ家庭教育に関する学習機会の提供や、情報交換ができる交流の場等をつくり、保護者と子および家庭と地域が良好な人間関係を構築できるよう支援に取り組む。

## 家庭教育支援の取組概要

教育委員会、福祉部局等の行政や、地域の子育て支援団体、PTAなど家庭教育に関わる関係団体と連携を図り、学習機会の提供や親子体験、交流の場づくりに取り組む。

### ◆特色ある取組

「命のおはなし講座」

令和6年度に本部小学校PTAママの会との共催で、講師を招いて講演会を行っており、本年度も実施予定としている。県内でも問題になっている若年出産、貧困の連鎖についてふれ、望まぬ妊娠を防ぐには幼いころからの命のおはなし(性教育)が必要であることについて学んだ。



## 成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

○成果・効果(R6年度)

参加者のアンケートより、「これまで性について伝え方に不安があったが、話を聞いて自信が持てた」「普段子どもと話す機会が持てない内容なので、これだけは伝えよう!と思うようになった」との回答があった。講座後も保護者同士で積極的に情報交換ができているようだった。

☆課題(R6年度)

コロナ禍もあり、少人数での開催となった。今後は参加者を増やせるよう工夫していきたい。

# 読谷村 家庭教育支援事業

チームの名称：家庭教育相談支援チーム

チーム員数 8名(子育てサポーター、子育て経験者、PTA関係者)

チーム結成年：平成 21 年

## 連携している外部人材・関係機関・団体等

■幼稚園 □保育所 ■小学校 ■中学校 □高等学校 □中等教育学校 □特別支援学校  
□児童館 □公民館 □図書館 ■PTA □子育て・教育支援団体、NPO □企業・事業所  
□病院・保健所 □家庭教育支援に関する実行委員会・協議会  
■行政(教育委員会) ■行政(保健・福祉部局) □行政(その他の部局： )  
□その他( )

## 活動の目的・理念

子育ての基礎である家庭教育力の向上を支援するために保護者のニーズを把握し関係機関と連携を図って家庭教育学習の機会や情報交換、交流の場づくり等、事業を展開し子育て世代の親子に寄り添う。

## 家庭教育支援の取組概要

- ①ママパパ子育てゆんたく会  
(毎月第1・第2木曜日開催)
- ②子育て応援講座(昼の部/夜の部)、  
お父さんの子育て 応援講座、  
子育てまーる講座
- ③家庭教育支援チームへのスキルアップ  
学習会の開催



### ◆特色ある取組

「ママパパ子育てゆんたく会」では、家庭教育支援員が中心となって、子育て中の保護者が、気軽に日頃の悩みや想い、相談を話せる(ゆんたく)場所作りを目指すものである。  
また、同時開催のプチリサイクル会では、経済的に子育てにかかる費用を抑えたいと考える世帯に対して、そのニーズにも応え得るものである。

## 成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

○利用者から「行政のどの課に相談したら良いか分からない」といった相談を受けた場合、家庭教育相談支援員より、生涯学習課担当者へ直ぐにその情報が共有される為、早い段階で適切な相談機関へのアプローチが可能。

- ☆新規で参加される方が少ないので、周知活動の工夫が必要。
- ☆主体的な活動を目指すうえでの人材育成と取組内容の見直し
- ☆講座での参加率の低迷。講座内容や周知活動についての見直しや工夫が必要